

PF入射器 加速ユニットアライメント用レーザユニットの改善対策

95-06-02

安定性、操作性を改善するに当り、次の配慮が必要

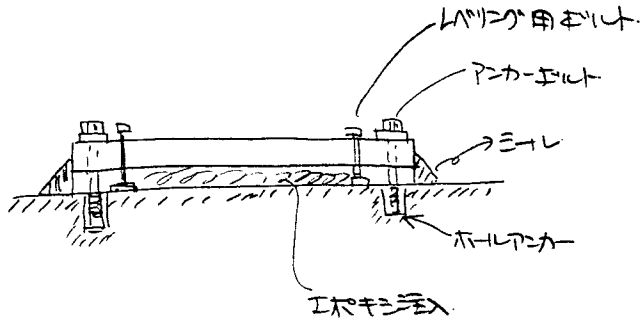
1. 床面アンカー部

床面の凹凸による固定歪を緩和するため、基礎プレート(20mm)を改造し、その上にレーザユニットを固定する。
基礎プレートの固定はアンカーボルトで行ない、お車は、シャリニング後にスキマにエポキシ樹脂を注入した。
2. 架台

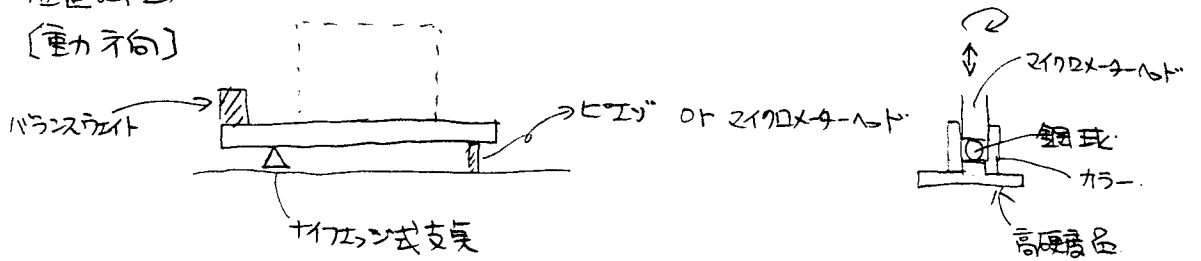
高剛性構造とし、外力、振動等に耐向した。
3. 位置調整メカ
 - (1) 調整部には大きな力が加わらない様にする。
 重力方向：バランスイットをつき 垂直に0にする。
 水平：バネカを利用して 。
 - (2) 角度調整の支桌部には出きるだけ損失の少ないメカを採用する。(反撥抵抗の小さなもの)
 更にガタ(スキマ)の無い構造とする。
4. 気流対策

出きるだけ密閉構造とする。
 お車は、電源OFFで使用するヒューズを入れた。

基準アライメント

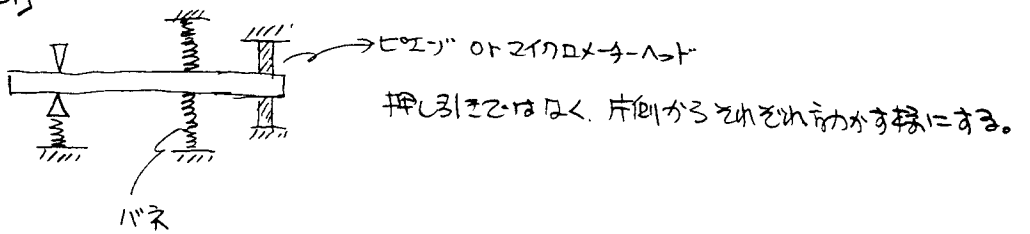


位置調整メカ [重力方向]



Steppe Motor Actuator
resolution: 50 nm VM25.4 14.75

[水平方向]



PF>船巻 B改造工事 建家延長工事に用 基準線の準備

建家工事に用(始)に当り、現任のヒムシンを参考にしながら建家工事を始めた。この要領が
あり、その基準線の準備要領を現場を見ながら決めた事をまとめたものである。

1. 日時 95.10.19 (木) 15H30'~16H00'

2. メンバー KEK: 大沢先生, 小川先生, 藤井さん (建築), ○
清水建設: ○○
名刺: 金野

3. 検査結果

(1) 基準線のとりえ ① 高さ方向 カハ架台上面 (GL+900mm)
② 水平方向 加産ユニット据付シン

(2) 基準線のマーク: 現搬入ヤットの床面でカハ面に个がキ入れ

(3) 基準線の精度 とりえず Cm オガーの精度とする。
(mm オガーのものは白目再実施)

(4) 个がキ作業 ① 日時 95.10.26 (木) 13H~16H (予備日 1/2)
② 担当 KEK: 大沢先生, +1名 (三宅サ)
名刺: 金野

(5) 実施要領 ① 高さ方向 オートレベルで 1-1~1-4 の平均値を
求め、その高さをカハ面に移し及から
搬入ヤットに持込む。

② 水平方向 1-1~1-4 床面に入っている据付時の
基準線を鋼尺で通路側に引き出し、
トランシットで搬入ヤットに持込む。
(ヤット側のカハが入って来ると、0+ユニット
部でもう一度横に引き出し直す。

(以上)

